



Newsletter

NO.45

March 2020



鹿児島大学総合研究博物館のシダ標本

ナンカイシダ (KAG123240)

contents

鹿児島島のシダと鹿児島大学総合研究博物館のシダ標本ノート	田金秀一郎 (2)
博士論文研究に係る2019年度の海外渡航記	藤原 恭司 (4)
For Mac ~ Office365、Excel の検索抽出のプログラム~	大西 佳子 (8)
諏訪考古資料コレクション5—古代土師器と縄文後期土器—	橋本 達也 (10)

鹿児島島のシダと鹿児島大学総合研究博物館のシダ標本ノート

田金秀一郎（総合研究博物館）

今回は鹿児島大学総合研究博物館が収蔵しているシダ標本についてご紹介します。

鹿児島県は南北約600km、亜熱帯の低地から冷温帯の山岳地帯を有し、その幅広い自然環境に起因して日本で最もシダの多様性が高い地域のひとつとなっています。シダの魅力に憑りつかれたシダ研究者や愛好家はこれまでに幾度も鹿児島を訪れ、どんなシダが生えているかについて精力的に調査研究を続けてきました。植物分類学者は植物標本の作成と分類学的研究を通して鹿児島島のシダ相の解明に貢献し、鹿児島にしか生育していない固有種や最初に発見された地域として鹿児島島の地名にちなんだ名前をつけられたシダも少なくありません。「薩摩」にちなむサツマシダ、サツマハチジョウシダ、「桜島」のサクラジマイノデ、サクラジマハナヤスリ、「紫尾山樋ノ谷川」に由来するヒノタニシダ、ヒノタニリュウビンタイ（図1）、「五里国有林」から得られたゴリカナワラビ（図2）、「紫尾山」のシビカナワラビ、シビイタチシダ、シビイヌワラビ等々。島嶼部からも、奄美大島にはアマミシダ、アマミデンダ、アマミアオネカズラ、アマミクラマゴケなど存在しています。また、特に低地から高地まで雨量の多い屋久島にはヤクシマウラボシ、ヤクシマカナワラビ（図3）、ヤクシマタニヌワラビ、ヤクシマワラビ、ヤクシマハチジョウシダなど屋久島の名がついたシダがいくつもあります。

そんな鹿児島島のシダですが、鹿児島県にはいった

い何種類のシダが生育しているか、ご存じでしょうか？実際の数値は分類群の見解等によって多少変動しますが、初島（2004）は「九州植物目録」にて609種類（亜種、変種、品種および雑種を含む）のシダが鹿児島に分布しているとしています。その根拠の大部分は、鹿児島大学植物標本室（KAG）に収蔵されているシダ標本であり、他の植物標本と同様に農林高等学校時代から約100年間に渡って蓄積されてきました。

鹿児島大学総合研究博物館が所有しているシダ標本は現在黒く塗られたプリキ製の箱100箱に分けて収蔵されていますが（図4）、その膨大な数故に実際の標本数や各標本の実態は長らく不明で、限られた研究者のみしかその情報を上手く利用することができずにいました。しかし、2019年、鹿児島島の植物愛好家の川原勝征氏が、執筆中の「九州のシダ図鑑（仮称）」のための基礎資料としてKAGのシダ標本を利用することとなり、シダ標本のデータベース化にご協力いただけることとなりました。そこで、当博物館スタッフと共にKAGに収蔵する全てのシダ標本の標本画像取得と標本ラベル情報の入力を進め、約1年間をかけてKAGのデータベースへの登録を終えることができました。現在は17,805点（2019年12月集計）のシダ標本の情報が鹿児島大学総合研究博物館植物標本室のwebsite (<https://www.museum.kagoshima-u.ac.jp/hyouhonsitu.html>) で公開されており、鹿児島をはじめ日本のシダ植物を研究する上で、また同定の参照標本として利用する上で大いに役立っています。



図1 ヒノタニリュウビンタイ



図2 ゴリカナワラビ

次はデータベースにより明らかとなったKAGの17,805点のシダ標本の特徴について少し触れておきたいと思います。KAGのシダ標本の採集地についてしてみると、国内から得られたものが16,421点(92.2%)、うち鹿児島県のは10,540点(59%)、海外は1,373点(7.7%)、不明11点(0.06%)でした。広義のチャセンシダ属(ここでは*Asplenium*属と*Hymenasplenium*属2属を指します)を例にもう少し詳しく見てみましょう。広義のチャセンシダ属については、788点の標本が4つのブリキ箱に分かれて収蔵されていました。狭義のチャセンシダ属(*Asplenium*)については、日本で現在36分類群の分布が知られていますが、KAGには33分類群(91.7%)が収蔵されていました。ハウビシダ属(*Hymenasplenium*)については同様に8分類群中6分類群(75%)を収蔵していました。つまり、KAGには日本産のシダの7割以上のシダ植物の標本を保有していることが窺えます。シダは世界の熱帯に広域に分布している種がある一方で、地域的な固有種も数多く存在します。KAGが収蔵しているチャセンシダ属のシダの中では、日本では小笠原諸島でしか生育が確認されていないムニンシダ、オトメシダ、ナンカイシダ(表紙写真)が計14点ほど収蔵されている点は意外でした。いずれも東京大学にて小笠原の植物を研究していた津山尚氏が1935年前後に採集したもので、おそらく標本寄贈を受けたり、交換標本を通して鹿児島に渡ってきたものと推察されます。表1はKAGが収蔵するシダ標本の採集者とその標本点数を示したのですが、鹿児島大学にゆかりのある初島住彦(3458点)、丸野勝敏(2843点)、迫静男(1533点)、内藤喬(636点)と上位を占める一方で、日本の有名な植物採集家である古瀬義(470点)や日本のシダ研究で礎を築いた倉田悟(376点)



図3 ヤクシマカナワラビ

の標本も数多く含み、当時の鹿児島の植物研究者が日本のシダ標本を精力的に、そして網羅的に収集しようとしていた強い意志を感じることができます。

鹿児島のシダに関しては、最近では徳之島にて日本でこれまでに報告されていないシダが新しく見つかりました。このシダはメシダ科の*Diplazium megaphyllum* (Baker) Christと同定され、日本統治時代の台湾で発見された際に名付けられた和名ムシャシダ(霧社羊歯)と呼ばれることになりました(Tagawa 1936, 海老原ら 2018)。私の調査でも、これまで九州本土や屋久島までしか知られていなかったハリガネワラビとヤワラシダの生育をトカラ列島中之島の御岳上部で確認し、日本における分布の南限を更新することになりました(田金 2019)。鹿児島ではシダの世界もまだまだ新発見が続きます

表1. 鹿児島大学総合研究博物館が収蔵するシダ標本の採集者とその標本点数

順位	採集者	標本点数
1	初島 住彦	3458
2	丸野 勝敏	2843
3	迫 静男	1533
4	内藤 喬	636
5	川辺 恭右	587
6	野口 英昭	543
7	古瀬 義	470
8	鈴木 重良	457
9	倉田 悟	376
10	志内 利明	356
11	池田 豪憲	346
12	河越 重紀	313
13	山中 鉄次	274
14	牧野富太郎	270
15	富樫 真	261



図4 標本箱

す。シダは森林、草原、路傍、高山や海岸近くの岩場など、県内どこにでも生えており、林床の豊かさを知る指標の一つになりうるもので、生態的に重要な地位を占めています。読者の皆さんも是非ともシダに興味を抱き、シダの世界へ踏み入っていただければ、旅先でひとつ楽しみができ、人生がさらに豊かになること請け合いです。近年は、シカの直接の食害と近隣の植物が被食されたことに伴う林床の乾燥化といった間接的な要因によるものが深刻で、各地でシダが減少傾向にあります。長い歴史の中で日本の各地に適応進化してきたシダを通して、自然環境の現状を正しく把握し、保全について考えてみるのも良いでしょう。

引用文献

- 海老原淳・森田秀一・山室一樹（2018）徳之島で発見された日本新産種ムシヤシダ（メシダ科）. 植物研究雑誌 93: 404-406.
- 初島住彦. 2004. 九州植物目録. 鹿児島大学総合研究博物館研究報告No.1. 343 pp.
- 田金秀一郎・丸野勝敏・鈴木英治（2019）ハリガネワラビとヤワラシダ（ヒメシダ科）をトカラ列島中之島に記録する. Nature of Kagoshima 46: 231-234.
- Tagawa M. 1936. Miscellaneous notes on the East-Asiatic pteridophytes with special reference to the Japanese species (I). Journal of the Japanese Botany 12: 486-495.

博士論文研究に係る2019年度の海外渡航記

藤原恭司（鹿児島大学大学院連合農学研究科）

1. はじめに

筆者は魚類の分類をテーマに博士論文研究を行っています。その研究課程で、2019年度にオーストラリア、アメリカ、スイス、南アフリカ、およびロシアの5ヵ国に合計6回渡航する機会を得ました。本稿では、それぞれの滞在先での生活や渡航して得られたことなどをまとめました。

2. オーストラリア

2019年5月16日から28日の期間で、オーストラリア連邦科学産業研究機構（CSIRO）（タスマニア州ホバート）とオーストラリア博物館（ニューサウスウェールズ州シドニー）に訪問しました。この渡航では所蔵されている標本を調査し、多くの新知見が得られ、さらに現地スタッフと深い交流もできました。CSIRO滞在中はスタッフのAlastair Graham氏



図1. Alastair Graham氏と夕食



図2. McGrouther夫妻とのホームパーティー



図3. タスマニアデビル



図4. ポッサム



図5. サラマンカマーケット



図6. オペラハウス

と昼食・夕食を一緒にとりました(図1)。食事の際は研究の話に加えて、同氏の趣味であるお酒やラグビーの話で盛り上がりました。オーストラリア博物館のMark McGrouther氏に招待していただいた滞在最終日のホームパーティー(図2)は、筆者にとって初となるもので、海外の文化など多くのことを体験できました。パーティーではカンガルー肉のステーキなどオーストラリアの食事を堪能できました。タスマニア、シドニーともに研究の合間の休日を利用して多くの動物とふれあうことができました(図3、4)。動物の大半は初めて見るものがほとんどで、ひじょうに興味深かったです。観光ではタスマニアで、週に一度開催されるサラマンカマーケットにタイミングよく行くことができ、買い物を楽しめました(図5)。タスマニアで作られているワインなどを購入し、ひじょうに満足できました。シドニーでは水族館や世界遺産のオペラハウス(図6)に行きました。オペラハウスは残念ながら、外観を眺めるだけだったので、今回は催し物なども観てみたいと思います。

3. アメリカ

アメリカには2019年中、2回にわたり渡航しました。1回目の渡航は7月24日から28日で学会発表のため、ユタ州にあるスノーボードスキーリゾートに(図7)、その後、7月29日から8月5日まで研究の

打ち合わせのため、テキサスA&M大学(テキサス州カレッジステーション)に訪問しました。この出張は初めての単独海外出張、英語での口頭発表、共同研究の打ち合わせなど初めて尽くめで、最も印象に残るものとなりました。英語での口頭発表は筆者にとって初であることに加え、聴衆全員がネイティブということで、ひじょうに緊張しました。事前に多くの練習を行った甲斐もあり、発表では質疑応答も含め概ね上手くできました。一方、さらなる改善点もみつきり、今後の発表に活かしたいと思います。テキサスA&M大学では筆者と同様、魚類のグループであるウバウオの仲間を研究対象にしているKevin Conway氏と共同研究の打ち合わせを行いました。英語での交渉は難航する時もありましたが、結果として、共同研究の話はひじょうに順調に進み、一安心しました。テキサス滞在中は同氏の自宅に泊めていただき、ホームステイの体験ができました(図8)。研究だけでなく、生活面でもひじょうにお世話になりました。

2回目の渡航は12月2日から13日の期間で、カリフォルニア科学アカデミー(カリフォルニア州サンフランシスコ)(図9)とスミソニアン自然史博物館(メリーランド州シュートランド)(図10)に所蔵標本の調査で訪問しました。いずれも世界トップクラスの標本収蔵量を誇り(図11)、ひじょうに充実した調査になりました。



図7. スノーボードスキーリゾート



図8. Kevin Conway氏と筆者



図9. カリフォルニア科学アカデミー



図10. スミソニアン自然史博物館



図11. スミソニアン自然史博物館の標本収蔵庫



図12. 高台からのレマン湖の眺め

4. スイス

2019年中、2回目となる国際学会での発表のため、スイスのヴォー州ローザンヌに9月2日から6日の期間で渡航しました。ローザンヌは中央ヨーロッパで2番目に大きい、レマン湖の湖畔に位置する都市で、滞在中ひじょうにきれいな景色を楽しむことができました(図12)。学会中、筆者はハゼの仲間の未記載種に関するポスター発表を行いました(図13)。また、学会では先述のテキサスでお世話になったKevin Conway氏やオーストリアの大学の博士学生Maximilian Wagner氏、およびシンガポールの研究者Tan Heok Hui氏などと交流を深めることができました(図14、15)。滞在中の生活では、チーズなどを使ったスイス料理を堪能できました。一方、食事などを通して、スイスの物価の高さに驚きました(筆者が渡航した国で最も高かったです)。学会の合間には観光を楽しむこともできました。ローザンヌに比較的近いジュネーブでは、旧国際連盟本部を中心にレマン湖の湖畔の大噴水や花時計など多くの観光名所に行くことができました。特に旧国際連盟本部の前にある彫刻作品の「壊れた椅子」はひじょうに見応えがありました(図16)。この他にも、学会終了後、帰国まで時間があつたことから、ユングフラウヨッホに行きました。ユングフラウヨッホは別名トップ・オブ・ヨーロッパと呼ばれる標高3454mに位置する景勝地で、登山鉄道で行くことができ

ます。当日は天候に恵まれませんでした、高所からの壮観な景色や美しい山々を楽しむことができました(図17)。

5. 南アフリカ

スイスでの学会発表を終えた後、10月15日から27日の13日間で南アフリカ博物館(西ケープ州ケープタウン)(図18)と南アフリカ水生生物多様性研究所(東ケープ州グレアムズタウン)(図19)に訪問しました。いずれも南アフリカ周辺で採集されたウバウオの標本が多く所蔵されており、筆者の博士論文研究を大きく、推し進めることができました。ケープタウンでは調査終了後、グレアムズタウンへの移動前に観光を行いました。ケープタウンでの観光はひじょうに便利が良く、ホテル発着のツアーが多くあり、申し込みもホテルスタッフが行ってくれました。ツアーではマイクロバスで喜望峰まで行くことが目的で、途中、景色の良い場所やケープペンギン(図20)を見ることが出来る場所でも停車しました。喜望峰では岬の先端にある灯台までケーブルカーで行くことができます。灯台からの大西洋とインド洋の眺めは壮大で、素晴らしかったです(図21)。ケープタウンの空港では特筆すべきトラブルに見舞われました。空港に入って、チェックインを行っている最中に、火事が起こり、一時、空港内の全員が外に避難するということがありました。幸い、しばらく



図13. 発表ポスターと筆者



図14. Kevin Conway氏とMaximilian Wagner氏と筆者



図15. 学会でのカクテルパーティー(左から二人目: Tan Heok Hui氏)



図16. 旧国際連盟本部と「壊れた椅子」



図17. ユングフラウヨッホの登山鉄道からの眺め



図18. 南アフリカ博物館

した後に無事、飛行機に搭乗することができました。調査の成果や観光などの楽しみに加え、トラブル面でもひじょうに印象に残る渡航になりました。

6. ロシア

筆者にとって2020年初の海外渡航は1月26日から30日のロシア渡航になりました。この期間でロシア科学アカデミー動物学研究所・博物館（サンクトペテルブルグ）に訪問しました。1月のロシアということで、ひじょうに寒く、街には雪がつもり、博物館の近くを流れるネヴァ川には流水を見ることができました（図22）。また、天候も一日中曇天で、晴間は残念ながら一度も見ることができませんでした。しかし、日が沈む頃から街中がライトアップされ、ひじょうにきれいな景色を楽しむことができました（図23）。訪問先では日本にも滞在したことがあるMikhail Nazarkin氏に会いました。同氏には研究に関わるだけでなく、昼食ではロシア料理（図24）を食べることができるレストランに連れて行ってもらったことなどひじょうにお世話になりました。帰国前には世界最大級の美術館であるエルミタージュ美術館に行くことができました（図25）。美術館では一日では全て見ることはできない程の美術品に加え、かつて歴代のロシア皇帝が住んでいた王宮の豪華な建物も楽しむことができました。

7. おわりに

筆者が本稿で紹介した5ヵ国、6回の海外渡航は、海外での研究調査の進め方、研究者や現地のスタッフとの意思疎通、異なる文化の理解など多くの能力を養うことができ、ひじょうに得難い経験になりました。これらの経験を今後の研究活動にも活かしていきたいと思います。海外渡航に際しては訪問先でお世話になった方々に加え、鹿児島大学総合研究博物館の西元暢子氏と同館魚類分類学研究室の皆様には様々なサポートを頂きました。最後に本稿を執筆する機会をくださった同館の本村浩之先生に深く感謝いたします。



図19. 南アフリカ水生生物多様性研究所



図20. ケープペンギン



図21. 喜望峰からの眺め



図22. ネヴァ川とサンクトペテルブルグの街



図23. サンクトペテルブルグの夜景



図24. 東欧料理のサリヤンカ



図25. エルミタージュ美術館

For Mac ~ Office365、Excel の検索抽出のプログラム~

大西 佳子 (総合研究博物館)

Microsoft社のOffice365、Excelの検索(セル内 完全一致)についてApple社のMacintoshのPC(Mac)向けに検索抽出を全て一度に抽出するためのプログラムをVBA(Visual Basic for Application)マクロで作ってみました。一般にMacの場合、検索抽出については、一つずつ順次に表示されます。その後、抽出されたものを保存、印刷などに利用するには一手間かかります。Excel使用でのこのプログラム処理により自分のデータや少ない資料整理、非公開データ処理に役立つのではないかと考えています。

VBAマクロの使用方法についてはネットに多く丁寧に記載されていますのでそちらをご参照いただけたらと思います。基本は処理したいデータExcelを用意、開いて、開発>Visual Basic>挿入(標準モジュール)>プログラム記述>ツール(マクロ)>プログラム選択>実行です。なお、バージョンによっては互換性がない場合があるかもしれません。ご容赦ください。また、背景色につきましてはどのような方々がご利用になるのかなどを考えると、紙媒体での場合、ディスプレイ画面で利用する場合などその時、場所で創意工夫いただければと思います。

たくさんのExcel、VBAマクロ関係のサイトを見て多くのことを学ばせて頂いています。この場を借りて御礼申し上げます。また、Excelを手解き下さった福元しげ子先生、ありがとうございました。(参考 Webサイト (1-32))

ご紹介するプログラムの仕様

検索した文字の種類	検索	フォントの種類	フォントサイズ
12345	○	id	id
20℃			
* **			
あいうえお			
アイウエオ			
ABC			
一二三四五六			
# \$ & < > ?			

○: 検索可能

id: independent

ASC 処理カナ文字: 可

%: 不可 (いい方法があるのかもしれませんが)

試行したフォント: 游明朝、游ゴシック・MSゴシック・HGPゴシックE・MS明朝・Osaka・Times
 試行したmacOS: High Sierra (10.13)、Mojave (10.14)、Catalina (10.15)

まず、今回ご紹介するプログラムについてフォントの種類、サイズ、文字の種類などで検索できるかどうかをチェック、その結果をまとめてみました。

表に示します。ほぼ全ての文字、記号で検索可能でした。(2020-01-24 現在)

次にプログラム内容です。Unionsample 1で検索抽出されたセルに指定する背景色をつけ、Macro 2で背景色を消した後、いずれかのセルをクリックすることで元に戻ります。Macro 2の代わりに範囲選択、『塗りつぶしなし』の処理でも元に戻ります。

*の所にご注意いただきながらお試し下さい。

Sub Unionsample1()

```
Dim r As Range, Target As Range
Range ("A1: Z100").Select      参照 注釈* 1
```

```
For Each r In Selection
  If r.Value = "●" Then          * 2
    If Target Is Nothing Then
      Set Target = r
    Else
      Set Target = Union (Target, r)
    End If
  End If
Next r
```

```
If Not Target Is Nothing Then Target.Select
With Selection.Interior
  .Pattern = xlSolid
  .PatternColorIndex = xlAutomatic
  .Color = RGB (①,②,③)          * 3
  .TintAndShade = 0
  .PatternTintAndShade = 0
End With
```



```
End Sub * 4
Sub Macro2()
' Color = RGB (①,②,③),Select
With Selection.Interior
.Pattern = xlNone
.TintAndShade = 0
.PatternTintAndShade = 0
End With
```

```
End Sub * 5
```

注釈

- * 1 検索範囲を指定 (始めのセル:終わりのセル)
- * 2 ●に検索したい英数字、文字、記号を記述
- * 3 ①、②、③に背景色にしたい色のRGB数値を記述
- * 4 Unionsample1 終了
- * 5 Macro2 終了

参考 Web サイト

- 1 Office for Mac (Visual Basic for Applications) (VBA) | Microsoft Docs // <https://docs.microsoft.com/ja-jp/office/vba/language/concepts/getting-started/calling-sub-and-function-procedures>
- 2 Excel や Access の学習なら Office Pro // <https://www.officepro.jp/>
- 3 EXCELで「行と列を入れ替える」操作を何回も繰り返して自動実行する方 - Excel (エクセル) | 教えて!goo // <https://oshiete.goo.ne.jp/qa/1838445.html>
- 4 実践・自然史標本の電子化～データ入力から発信まで～ // http://science-net.kahaku.go.jp/contents/resource/SNet21_20130614_2_Jinbo.pdf#search=%27国立科学博物館+動物研究部+神保++実践・自然史標本の電子化%27
- 5 ExcelのWeb参考書 なんだ!カンタン! Excel 塾:ここだね COM // <https://kokodane.com/>
- 6 セル内改行 枠内改行 セル2段 セル内で折り返す 関数でセル内改行 表示形式でセル内改行 Alt+Enter CHAR (10) Ctrl+j 数式 取り除く エクセル Excel [エクセルの学校] // <http://www.excel.studio-kazu.jp/tips/0046/>
- 7 インストラクターのネタ帳 <https://www.relief.jp/?docs?003575.html>
- 8 Office TANAKA // <http://officetanaka.net/index.stm>
- 9 ExcelVBA@Workshop - Excel VBA のサンプル集&リファレンス // <http://excel.style-mods.net/>
- 10 VBAとは? マクロとは? 初心者向けに基礎の基礎をわかりやすく解説 | 侍エンジニア塾ブログ (Samurai Blog) - プログラミング入門者向けサイト // <https://www.sejuku.net/blog/6257>
- 11 Excel VBA を学ぶなら moug モーグ <https://www.moug.net/>
- 12 Excel Automation - Ron de Bruin <http://www.rondebruin.nl/>
- 13 自宅でプログラミング! - Excel VBA プログラミング入門 // <https://www.239-programing.com/>

- 14 Excel VBA で文字列を検索する: InStr, Find | UX MILK // <https://uxmilk.jp/47915>
- 15 Excelの文字の検索、置換、比較、変換 <http://www.excel-list.com/conversion.html>
- 16 Excel セミナー・研修のすごい改善 <https://sugoikaizen.com/>
- 17 エクセルの学校 HOME index エクセル Excel [エクセルの学校] // <http://www.excel.studio-kazu.jp/>
- 18 インターネットなどを見ると時々、「一番上へ」や「戻る」のボタンが画面を上下... - Yahoo! 知恵袋 // https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q14140322269?__ysp=RXhjZWwg55S76Z2iOaIu%2BOCi%2BOAgFZCQQ%3D%3D *うまく表示されない場合は [インターネットなどを見ると時々、「一番上へ」や「戻る」]で検索してみてください。
- 19 エクセルサプリーお仕事×ちょっとした元気 <https://excel.resocia.jp/>
- 20 いまさら聞けないExcelの使い方講座 2020年 記事一覧 // <https://forest.watch.impress.co.jp/docs/serial/exceltips/index.html>
- 21 検索結果: リレーショナルデータ | Synapse Diary // <https://synapse-diary.com/?s=リレーショナルデータ>
- 22 エクセルでのデータ貯蔵 - はビジネスに有害 - Lokad // <https://www.lokad.com/jp/> エクセルでのデータ貯蔵 - はビジネスに有害
- 23 もう一つのデータの抽出 (Microsoft Query) | エクセル塾 // <https://ameblo.jp/hokora2016/entry-12333452045.html>
- 24 ワニ chan のぼそこんわーど: Microsoft Office 総合情報& Tips // <https://www.wanichan.com/pc/>
- 25 Excel (エクセル) VBA 入門: 目次 // <http://www.eurus.dti.ne.jp/~yoneyama/Excel/vba/index.html>
- 26 ShowAllData メソッドでオートフィルタを解除せずに全データを表示する方法 (Excel VBA) | 大村あつし official ブログ by ダイヤモンドブログ // <https://www.diamondblog.jp/official/omura/2016/04/16/showalldata> メソッドでオートフィルタを解除せずに全データ /
- 27 Tipsfound // <https://www.tipsfound.com/>
- 28 VBAのIE制御入門 | IE操作の自動化 <https://www.vbaie.net/>
- 29 なにぬねの一つ <http://www.niji.or.jp/home/toru/notes/index.html>
- 30 どんな問題もあつと言う間に解決! (ジャストアンサー) // https://www.justanswer.jp/sip/general?r=ppc%7Cov%7C4%7CJustAnswer%20%2D%20Yahoo%20JP%7C1&JPKW=justanswer&JPDC=e&JPNW=s&pcrid=343364994902&JPAD=txt&JPCD=20160310&JPRC=1&JPOP=Agostina%5FSIPMigration%5FJustAnswer&mkwid=bDXftxAs&pkw=justanswer&pmt=e&mkwid=lxo4pa0G&pkw=justanswer&pmt=e&pdv=c&yclid=YSS.1000060593.EA1aIQobChMI2JfOjtui5wIVFnZgCh0cOAtXEAAYASAAEgKqdfD_BwE
- 31 近視進行を抑制する光! 「バイオレットライト」とは? | こどもの近視情報サイト ME-MAMORU (メマモル) // <https://healthcare.jins.com/memamoru/article/3-1.html>
- 32 現代社会に欠如しているバイオレット光が近視進行を抑制することを発見 - 近視進行抑制に紫の光 - : [慶應義塾] // <https://www.keio.ac.jp/ja/pressreleases/2016/12/26/28-19271/>

(2020年2月12日確認済み)

諏訪考古資料コレクション5—古代土師器と縄文後期土器—

橋本 達也（総合研究博物館）

鹿児島の考古学者、故・諏訪昭千代さんから、総合研究博物館に寄贈いただいた考古資料を紹介します。

杉本寺跡の土師器

諏訪コレクションの杉本寺跡採集遺物はとても多く、Newsletter No.44 では蔵骨器を紹介しました。今回は土師器の杯を紹介します。

その前に、杉本寺について再確認します。杉本寺は現在の南さつま市役所が建っている場所に明治初頭の廃仏毀釈まで存続していたお寺です。真言宗で坊津にあった一条院の末寺（配下にあるお寺）でした。室町時代の15世紀前半に活躍した島津氏第9代・島津忠国との縁が深く、忠国菩提所である六角堂を所管する島津家にとって重要な寺院の一つでした。なお六角堂跡・島津忠国墓は現在市役所南西にあり公園となっています。

この杉本寺跡で採集された土師器は、そのほとんどの年代が平安時代に相当し、なかには鎌倉時代のものも含むというものです。江戸時代に下るようなものがないのは、採集の際に新しそうなものを選別していたのか、あるいは平安～鎌倉時代の地層や遺構が破壊されて出てきていた可能性が考えられます。

これらの採集は昭和29年10月下旬に行われたこと

が、土器に貼り付けられた付箋からわかります。現南さつま市の前身加世田市は、昭和29年7月に発足していますので、これらの遺物は市の関係施設造成に伴って出てきたものかも知れません。

また、いくつかは採集者・神田三郎と書かれており、諏訪さんが神田さんから譲り受けたものが多くを占めるのではないかと推測されます。当時はまだ文化財の調査や保護の体制のない時代ですから、お二人がいなければこれらの資料は消えていたことでしょう。

図1・図2の土師器は杯という手持ち食器で、杉本寺跡採集品のごく一部です。底に台を付けるものやヘラで平らにすることを特徴とするもので、おおむね9世紀後半～10世紀頃のものが多くみられます。

前回紹介した蔵骨器は9世紀前半に位置づけられると考えていますので、この時代、すくなくとも平安時代前半期までに杉本寺は創建され、南薩の仏教の拠点として活動をはじめていたと考えられます。文献記録上では、島津忠国との関係で由緒の語られるお寺ですが、実際にはそれより500～600年も古い時期の遺物が多く見つかっているのです。

杉本寺跡では、ほかに墨書・刻書土器、須恵器、陶磁器、滑石製石鍋や鍛冶関連遺物なども出土しています。また機会をあらためて紹介したいと思います。



図1 杉本寺跡 採集土師器 1



図2 採集土師器 2

諏訪コレクションの縄文土器

時代がいきにさかのぼりますが、今回あわせて諏訪コレクションのなかの縄文土器3点を紹介します。

諏訪コレクションのなかには破片を含めるとたくさん縄文土器があります。図3～5は状態がよく、石膏復原まで諏訪さんが行っていたものです。図3・図4はともに縄文時代後期前半の土器で、図5はつく後期中葉の土器です。上から下に向かって新しく、今から4500～4000年ほど前のものと考えられます。

図3・図4の採集地は不明ですが、図4は胎土（土器に使った粘土）が赤黒く、鉱物の雲母を多く含む大隅地域の土器の特徴を持っています。志布志市の中原遺跡などでの採集品かも知れません。図5は南さつま市金峰町大野で採集されたものです。同地では南原遺跡という戦前から知られた縄文後期を中心とする遺跡があります。周辺では鹿児島県の農業開発総合センターの造営に伴って大規模な発掘調査が行われましたが、他にこの土器を出土するような遺跡は見つかっていませんので、南原遺跡での採集が最有力です。

なお、いずれも縄文土器ですが、‘縄文’はついていません。図3・4の土器は上半部に棒状の工具で引かれた凹線で文様を付けるのが特徴です。

図3の土器は宮之迫式土器の深鉢というものです。用途は煮炊き用のナベで、外面にはススも付着しています。口縁部には刻目を施し、土器の上半部は太い線で迷路のような文様を描いています。口縁部は4割ほどの残存で、直径23.5 cmに復原されており、高さは13.5 cmほど残っていますが、底部はありません。器壁は8～9 mmでやや厚ぼたく作られています。文様は4 mmほどの太さの線で描かれ、表面には貝殻の背でなでた条痕がつきます。

図4の土器は指宿式土器の深鉢です。文様の範囲が広く、2本の線で大きく描いています。口縁端部には一部に刻み目を施しています。口縁部の復原直径は26 cm、高さは28 cmです。厚さは6 mmほどで、図3の土器と比べると薄く作られています。文様は太さ2～3 mmの線で描かれており、文様部以外は細かな条痕のつく道具でなでられています。底部も残っており、輪っか状にした粘土の内部を充填するように作られています。

図5の土器は丸尾式土器で口縁部の突帯付近には貝殻による刺突文が施されています。口縁部は水平で、4割程度残存し、直径24 cmに復原できます。高さは21.5 cmまで残り、器壁は1 cmと厚く作られています。文様部以外は粗い条痕があります。

いずれも情報が少なく評価が難しいのですが4000年以上前の鹿児島の人の生活の物語る資料です。他の破片資料等はいずれ紹介したいと思います。



図3 縄文土器 深鉢（宮之迫式）



図4 縄文土器 深鉢（指宿式）



図5 縄文土器 深鉢（丸尾式）

2019年度の活動の記録

第26回研究交流会

キリシタン考古学の最前線—遺跡・墓地・ミゲル墓所—
2019年7月27日(土) 13:30~15:00

場 所：鹿児島大学 総合教育研究棟102 講義室

定 員：入場無料

講 師：田中 祐介（別府大学文学部）

■ 世界遺産に「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連」が登録され、近年、戦国時代のキリシタン遺跡で新たな調査・発見が続いている。講師は千々石ミゲル墓の調査を担当するなど、その最先端研究を主導する一人。

第19回自然体験ツアー 寺山の植物

2019年8月3日(土) 9:00~15:30

場 所：鹿児島大学教育学部 寺山自然教育研究施設
現地集合・現地解散

講 師：田金秀一郎（鹿児島大学総合研究博物館）

定 員：7名 参加費：100円（保険料）

持参物：弁当・飲み物・（剪定ばさみやルーペ、デジカメなど）

■ 鹿児島市寺山で、植物標本の作成を通して、地域の植物相を調べる方法を学習。

第1回 バックヤードツアー 植物標本庫

2019年8月10日(土) 9:00~12:00

場 所：鹿児島大学 共同利用棟2階 植物標本庫

定 員：5名（参加無料） 現地集合・現地解散

講 師：田金秀一郎（鹿児島大学総合研究博物館）

■ 鹿児島大学総合研究博物館が収蔵する植物標本庫を紹介。押し葉から「標本」を作製し、博物館に収蔵されるまでの流れについて解説。

企画展示 薩摩半島の魚類in 笠沙恵比寿

（笠沙恵比寿・鹿児島水圏生物博物館共催）

2019年7月1日(月)~8月25日(日) 9:00~17:00

場 所：笠沙恵比寿（鹿児島県南さつま市）

入館料大人200円。中学生以下は無料

■ 薩摩半島周辺海域にみられる魚、500種の標本を展示。笠沙町で発見された珍しい魚の解説。来館者には「笠沙の魚」ポスターをプレゼント。

企画展示 薩摩半島の魚類in 鹿児島大学

2019年8月26日(月)~9月13日(金)

場 所：鹿児島大学附属図書館 ギャラリー

入場無料

■ 薩摩半島西岸にみられる魚、500種の標本を展示。笠沙町で発見された珍しい魚の解説。

第19回特別展 タイ王国の化石

—後期新生代の哺乳類化石の年代層序とその古環境—

2019年12月16日(月)~2020年1月16日(木) 10:00~17:00

（12月27~1月5日・1月13日は休館）

場 所：鹿児島大学附属図書館 ギャラリー

入場無料

■ 大学院理工学研究科・仲谷英夫教授が長年行ってきたタイ国での化石に関するフィールドワークについて、標本およびポスターで、その研究方法、研究成果を紹介。

第37回市民講座 「ミステリーサークル」をつくるフグ

2020年1月11日(土) 10:00~11:30

場 所：鹿児島大学 郡元キャンパス

鹿児島大学連合農学研究科3階会議室

定 員：なし（入場無料）

講 師：川瀬裕司（千葉県立中央博物館分館海の博物館・主任上席研究員）

■ アマミホシゾラフグは、全長わずか10 cmの小さな体で直径2 mもある精巧な円形幾何学模様の構造物を海底につくることが知られている。フグがどのように、何のためにこの「ミステリーサークル」をつくるのか、ビデオを交えて解説。

ミニ企画展 アマミホシゾラフグのすべて

2020年1月11日(土)~3月31日(火)

場 所：鹿児島大学 郡元キャンパス 常設展示室

入場無料

■ 2014年に新種として記載されたアマミホシゾラフグ。砂底に多くの溝や土手を配置した直径2 mほどの正円形の産卵巣を作る。このような巨大で複雑な産卵巣を作る魚類は知られていなかったため、国際生物種探査研究所が選考する「世界の新種トップテン」に選ばれた。本ミニ企画展では、産卵巣の実物大模型や発見された最初の個体（命名の基準となった標本）を展示するとともに、水中写真などをとおして、アマミホシゾラフグの謎に迫る。

鹿児島植物研究会講演会 鹿児島の植物相の紹介

2020年1月25日(土) 13:00~15:30

無料

鹿児島大学総合研究博物館の植物研究の紹介

鈴木英治・田金秀一郎

鹿児島県立博物館の植物研究の紹介

久保紘史郎

奄美の植物~3年間の植物撮影旅行~

片野田逸朗

薩摩半島の植物相~サツマハギ類を中心に~

丸野勝敏